



平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 なとり

コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長兼経理部長 (氏名) 安宅 茂

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,000	5.4	790	53.1	787	53.8	528	63.6
28年3月期第1四半期	9,489	4.5	516	19.6	512	19.0	322	19.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 476百万円 (18.1%) 28年3月期第1四半期 403百万円 (39.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	42.00	—
28年3月期第1四半期	25.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	31,990	17,704	55.3
28年3月期	30,521	17,334	56.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 17,704百万円 28年3月期 17,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
29年3月期	—				
29年3月期 (予想)		9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	20,000	2.0	1,270	7.0	1,250	6.9	840	12.0	66.76
通期	42,000	2.3	2,310	4.2	2,300	4.4	1,550	23.8	123.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	15,032,209 株	28年3月期	15,032,209 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,449,274 株	28年3月期	2,449,274 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	12,582,935 株	28年3月期1Q	12,582,935 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等.....	4
4. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
【四半期連結損益計算書】.....	7
【四半期連結包括利益計算書】.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(セグメント情報等).....	9
5. 補足情報.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間における国内経済は、雇用環境の改善がみられる一方で、英国の EU 離脱の影響も加わり円高が進んだ不安定な国際金融市場などを背景に、企業収益や個人消費など、今後の先行きへの不安は広がっております。

この様な状況の中、当社グループは、春夏新製品の導入及び市場定着を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進等に引続き取り組みました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は、売上高 100 億円（前年同四半期比 5.4%増）、営業利益 7 億 90 百万円（同 53.1%増）、経常利益 7 億 87 百万円（同 53.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 5 億 28 百万円（同 63.6%増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

区 分		前第 1 四半期 〔自平成27年4月1日 至平成27年6月30日〕		当第 1 四半期 〔自平成28年4月1日 至平成28年6月30日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食 品 製 造 販 売 事 業	水産加工製品	4,126	43.5	4,313	43.1	187	4.5
	畜肉加工製品	1,630	17.2	1,778	17.8	148	9.1
	酪農加工製品	1,802	19.0	1,892	18.9	90	5.0
	農産加工製品	261	2.8	267	2.7	5	2.0
	素材菓子製品	504	5.3	529	5.3	25	5.0
	チルド製品	172	1.8	136	1.3	△36	△21.0
	その他製品	916	9.6	1,007	10.1	90	9.9
	計	9,413	99.2	9,924	99.2	510	5.4
不動産賃貸事業計		75	0.8	76	0.8	0	1.1
売上高合計		9,489	100.0	10,000	100.0	511	5.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、「一度は食べていただきたい おいしいさきいか」が好調に推移し、新製品の「しっとりやわらか あたりめ」やシャキシャキ食感の「茎わかめ」なども売上を伸ばし増収となりました。畜肉加工製品は、TVCMを放映中の「THE おつまみ BEEF 厚切ビーフジャーキー」や、新製品の「おつまみ合鴨ロース」などのジャーキー製品が引続き好調に推移したことと、「OTSUMAMI 牧場 スティックカルパス」などのドライソーセージ製品も売上増加に貢献したことで増収となりました。酪農加工製品は、期間限定で発売中の「チーズ鱈 うに味」などのチーズ鱈製品が売上を牽引し、増収となりました。農産加工製品は、JUSTPACK シリーズの豆製品などが売上を伸ばし増収となりました。素材菓子製品は、酸味を抑えた新製品の「甘ずっぱい カリカリ梅 種ぬき」などが好調に推移し増収となりました。チルド製品は、ほんのり甘いなめらか食感の「クリーミーくちどけチーズたら生クリーム」などが売上を伸ばしましたが、減収となりました。その他製品は、新製品の「うずらの味付けたまご 燻製風味」などのレトルト製品や、「おつまみセレクション」などのアソート製品が売上を伸ばし大幅増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は 99 億 24 百万円（同 5.4%増）となりました。

利益面では、売上増加等により、売上総利益は 33 億 69 百万円（同 12.4%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄とりなどあるべきコスト構成を追求するコストコントロールに継続的に努めたこと等により、対売上高比率は 26.5%と前年同四半期に比べ 0.4 ポイント減少させ、26 億 28 百万円（同 3.9%増）となりました。

この結果、営業利益は 7 億 40 百万円（同 57.8%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は 76 百万円 (同 1.1% 増)、営業利益は 49 百万円 (同 5.6% 増) となりました。

		前第 1 四半期 〔自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日〕		当第 1 四半期 〔自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売 上 高	9,489	100.0	10,000	100.0	511	5.4
	売 上 総 利 益	3,045	32.1	3,418	34.2	373	12.3
	販 管 費	2,529	26.7	2,628	26.3	99	3.9
	営 業 利 益	516	5.4	790	7.9	273	53.1
	経 常 利 益	512	5.4	787	7.9	275	53.8
	親会社株主に帰属する四半期純利益	322	3.4	528	5.3	205	63.6

(2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、319 億 90 百万円 (前連結会計年度末比 14 億 69 百万円増) となりました。

資産の部では、建設仮勘定、現金及び預金、原材料及び貯蔵品が増加したこと等により、総資産が増加いたしました。

負債の部では、未払金が減少しましたが、長期借入金、支払手形及び買掛金の増加等により、負債合計は 142 億 86 百万円 (同 10 億 99 百万円増)、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は 177 億 4 百万円 (同 3 億 69 百万円増) となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 1.5 ポイント減の 55.3% となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想および第 2 四半期業績予想につきましては、平成 28 年 5 月 9 日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,657,954	4,371,312
受取手形及び売掛金	6,796,281	5,893,831
商品及び製品	1,016,175	938,291
仕掛品	665,590	722,151
原材料及び貯蔵品	2,751,936	3,029,887
その他	328,194	297,044
貸倒引当金	△1,249	△1,325
流動資産合計	15,214,884	15,251,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,310,333	6,240,884
土地	5,361,405	5,361,405
その他（純額）	1,882,753	3,461,606
有形固定資産合計	13,554,492	15,063,895
無形固定資産	147,066	143,699
投資その他の資産	※1 1,604,785	※1 1,531,807
固定資産合計	15,306,344	16,739,402
資産合計	30,521,229	31,990,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,862,208	4,055,710
短期借入金	2,855,000	2,840,000
1年内返済予定の長期借入金	-	194,040
未払法人税等	433,738	263,783
賞与引当金	332,218	273,882
役員賞与引当金	36,000	9,000
その他	3,017,268	2,574,001
流動負債合計	10,536,433	10,210,418
固定負債		
長期借入金	-	1,389,790
役員退職慰労引当金	629,079	638,767
退職給付に係る負債	937,291	933,363
資産除去債務	4,918	4,918
その他	1,079,100	1,109,094
固定負債合計	2,650,389	4,075,933
負債合計	13,186,823	14,286,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	14,927,154	15,348,655
自己株式	△2,095,739	△2,095,739
株主資本合計	17,097,463	17,518,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,570	217,033
為替換算調整勘定	109,081	94,233
退職給付に係る調整累計額	△130,709	△125,986
その他の包括利益累計額合計	236,942	185,280
純資産合計	17,334,405	17,704,245
負債純資産合計	30,521,229	31,990,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
売上高	9,489,256	10,000,854
売上原価	6,443,775	6,581,959
売上総利益	3,045,480	3,418,894
販売費及び一般管理費	2,529,240	2,628,781
営業利益	516,240	790,113
営業外収益		
受取配当金	10,991	11,913
受取賃貸料	6,643	6,731
その他	9,136	12,131
営業外収益合計	26,771	30,776
営業外費用		
支払利息	4,871	4,654
賃貸費用	8,718	8,113
持分法による投資損失	17,045	20,226
その他	-	9
営業外費用合計	30,635	33,003
経常利益	512,376	787,887
税金等調整前四半期純利益	512,376	787,887
法人税等	189,424	259,430
四半期純利益	322,951	528,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	322,951	528,456

【四半期連結包括利益計算書】  
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
四半期純利益	322,951	528,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,803	△41,536
退職給付に係る調整額	3,932	4,722
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	△14,848
その他の包括利益合計	80,661	△51,662
四半期包括利益	403,613	476,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,613	476,794
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,413,991	75,264	9,489,256	—	9,489,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,413,991	75,264	9,489,256	—	9,489,256
セグメント利益	469,676	46,563	516,240	—	516,240

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,924,766	76,087	10,000,854	—	10,000,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,924,766	76,087	10,000,854	—	10,000,854
セグメント利益	740,946	49,167	790,113	—	790,113

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による当第 1 四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成 28 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 28 年 6 月 30 日)
投資その他の資産	15,799 千円	15,799 千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日)
減価償却費	221,288 千円	224,714 千円

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、埼玉新工場（仮称）の建設資金の調達を目的として、平成 28 年 7 月 29 日に次の借入契約を締結いたしました。

1. 借入先の名称：株式会社三菱東京UFJ銀行他
2. 借入金額：2,660,000 千円
3. 利率：固定金利
4. 借入実施日：平成 28 年 12 月 30 日
5. 返済期限：平成 38 年 9 月 10 日
6. 担保提供資産又は保証の内容：なし